



資料105

平成27年11月30日
子ども家庭部保育課

平成27年11月21日

小金井市長 殿

平成27年度 小金井市公立保育園父母の会 意見・要望等

小金井市公立保育園父母の会(通称:五園連)

くりのみ保育園父母の会会長 北池 智一郎

けやき保育園父母の会会長 酒井 桃子

小金井保育園父母の会会長 今井 重

さくら保育園父母の会会長 村川 雄三

わかたけ保育園父母の会会長 細野 枝美(代表)

日頃より、保育園をはじめとする保育行政や子育て施策について御尽力を頂きありがとうございます。

我々小金井市公立保育園父母の会(以下、五園連)と市では定期的に懇談の場を設けていただき、昨年度3回、今年度も既に2回の懇談会が行われました。おかげさまで、公立五園の保育園の父母の意見を直接市にお伝えすることができ、また市の保育施策に関する考え方についても、理解を深める事が出来ました。

加えて平成25年度にスタートした小金井市公立保育園運営協議会に加え、昨年は小金井市保育検討協議会が立ち上がり、これらの会議では、小金井市の保育の現状分析や、公立保育園の運営に関して総合的に検討をし、我々父母の保育ニーズや保育の質等に関する協議を続けています。また、子ども子育て新制度が4月から始まり、子ども子育て会議も改めてスタートをしております。

以上のような状況の中、本年度も全世帯の父母を対象としたアンケートを運営協議会(市と父母の共同)で実施しました。その結果をもとに添付の通り、意見・要望等を取り纏めております。

アンケートの結果をご覧頂いてわかる通り、現状への満足度が非常に高いです。保育に従事されている方々が日々尽力されており、小金井の保育の質の高さを維持して下さっていることが、この結果を生んでいると感謝しております。ぜひ、この現状への満足度が変わらないようなご対応をお願いしたいと思います。

その上で、今年度の意見・要望はアンケート結果を踏まえ、昨年度から大きく変わっておりません。アンケートの結果で昨年同様に1位であった保育士体制の問題の改善を強く要望いたします。また、小金井市の待機児童の問題については、市の努力により昨年から大きく改善をしているものの、引き続き我々父母としても大変憂慮をしています。加え

2015	項目	2015年 意見・要望
	現状の保育内容の維持・向上について	<p>今年度のアンケートでは、現状の公立保育園の保育内容に対して「満足している」「おおむね満足している」と回答した割合は95%となっています。その理由については、保育士のスキルや経験などに対する父母の園への信頼であり、アンケートの自由記述欄には具体的にその内容も記されています。市では総合的見直しや保育サービスの拡充について検討をされていますが、その際、まずは上記アンケート結果を十分に斟酌いただき、現状の保育内容の維持・向上に支障をきたすようなことが無いよう、とり進めをお願いいたします。</p>
1	保育士体制問題	<p>保育士体制については、ここ数年、五園連としても問題点を指摘させていただいています。平成25年4月1日時点では保育士が13人、うち正規職員は5人も欠員の状態となり、平成26年1月時点で「平成26年4月からの公立保育園の保育体制について(要望)」を五園連より市に提出いたしました。そこでは、保育士が度々変わるようなクラスでは、子どもたちは落ち着かず、父母との信頼関係も築きにくくなってしまっている現状と、同時に社会的にも保育士不足となっている状況を踏まえ、中長期的な採用のあり方を含む抜本的な保育士体制の問題として改善を要望いたしました。</p> <p>また同時に、運営協議会で協議を行う上で、新たなサービスの拡充等は保育体制の確保が当然の前提となるばかりか、将来の運営形態の見直しにも大きく影響する問題であることから、協議への影響の懸念について指摘をさせていただきました。</p> <p>その後も、適正な保育体制で運営をするにあたり、今年度は正規職員の代替として、非常勤ではなく、任期付職員で対応をされていますが、任期が終了する2年後の体制を懸念する声もあるほか、臨時職員や朝晩のパートさんについては、未だに募集人数を確保できず、恒常的な欠員状態は続いております。加えて今年度は年度途中で退職者がいましたが、その補充が臨時職員となっており、来年度に向けた対応も我々は注視しております。</p> <p>市では臨時職員の交通費の支給など一定の努力をされていることは理解をしますが、我々父母としては、保育体制が万全でなければ、安心して子どもを預けることができません。また、非正規化による中長期的な運営体制への懸念の声もあがっており、これらの点は、本年のアンケートにおいても大きな声となっています。あらためて、中長期的なあるべき保育士採用のあり方をしっかりと確立していただき、抜本的な保育士体制の改善を強くお願いいたします。</p>
2	待機児童の解消	<p>待機児童数は今年度は164人と昨年度までの増加傾向からようやく改善がされました。我々のアンケートの結果においても昨年度同様に要望が非常に高く、兄弟がバラバラの園に泣き別れて通っているケースや、待機児童を理由に新たな出産を躊躇するなどの意見が多数出ています。また昨年度は待機児童解消のために公立保育園で計10名の緊急受け入れを実施したほか、過去においては、定員の弾力化枠の適用や遊戯室の一部を無理して育児室にするなどの保育への影響も出てきています。市では、27年度の待機児童解消を目指した保育計画を策定されていますが、計画達成のための具体的な施策の着実な実施に加え、施策を実施するにあたっては、現状の保育の質や保育環境を後退させることのないよう対応をお願いいたします。</p>
3	病児保育	<p>病児保育については、我々父母が仕事を続けていく上で是非でも必要という意見もあり、アンケートでもこのままでは、仕事を続けることも難しいという声も出ています。そのため、五園連では、過去も常に上位で要望を続けてきました。保育計画では、平成30年以降に病児・病後児保育施設を新規に開設をする計画となっていますが、これでは、その間における現状の問題は改善されません。市の説明では、その間でも開設に向けて努力をされており、武蔵小金井駅付近での開設に向け、具体的な検討もされていると伺っていますが、改めて、喫緊の課題として認識いただき、早急な対応をお願いいたします。</p>
4	病後児保育	<p>くるみ保育園が開設されたこと自体は評価できますが、病後児保育の父母のニーズは相変わらず高く、一方で実際の父母の利用は低調にとどまっています。父母からは市のはずれで使い難いという声のほかにも、時間が17時までで使いにくいという声など、運用面の改善を求める意見がでています。またアンケートの内容からは、くるみ保育園を十分に認知されていない状況も見受けられます。まずは、現在のくるみ保育園の周知及び運用の改善等を行っていただきたく、よろしくをお願いいたします。加えて、市中心部での開園や、体調不良児型保育等についても、着実な実施をお願いいたします。</p>
5	延長19時一時利用	<p>現状は一時利用の制度が無いので使えずらばかりか、緊急時に運用で対応している園との差については不公平感もあり、改善が必要となっています。近隣自治体では実施されているケースが多数あり、この点は運営協議会の議論の中でも取り上げました。現在、来年度に向け実施の検討を進めているようですが、改めて早急な制度の導入をお願いするとともに、制度の導入にあたっては、公平性に配慮しつつ、運用面での使いやすい制度の導入をお願いいたします。</p>

2015	項目	2015年 意見・要望
13	駐車場の確保	希望する身近な園に入れなかった父母や兄弟がいる家庭にとっては、車利用は必要不可欠であり、駐車場問題は各園父母にとって切実な問題になっています。園周辺での駐車場の確保については、市の方針と大きく異なるため、意見は平行線となっていますが、入所希望時に各園の状況や車利用についての市の考え方をしっかり説明していただくことについては、その後のトラブルを未然に防ぐためにも、引き続き対応を継続・強化頂くようお願いいたします。
14	保育相談の強化	保育士体制問題との関連も指摘がありますが、より相談がしやすい環境づくりに関して配慮をお願いいたします。
15	保育料の見直し	保育料については、値下げを求める声がある一方で、保育の質やサービスの維持・向上による値上げを容認する意見もあります。見直しの議論を行う場合は、透明性を確保したうえで、父母の納得感が得られるような取進めをお願いいたします。
16	異年齢保育の評価	異年齢保育については、アンケート結果を見ても、評価の声、疑問視する声など様々です。市の内部で一定の整理をして頂いているようですが、早期に我々父母に対して共有をいただきますようお願いいたします。
17	放射線測定強化	引き続き、食品を中心とした放射線量の監視・測定等をしっかりと継続・強化してください。
18	障がい児受け入れ	保育士の確保や運用面に関する受け入れ態勢の強化等のご対応頂き、全ての年齢での受け入れの実施や、定員の増加等、かかわりの必要な園児の受け入れを更に進めて下さい。
20	第三者評価	第三者評価も各園一度の実施は終わり、二順目に入っています。これまでの結果は各園とも保育内容については一定の高評価となっている一方で、父母とのコミュニケーション等については課題もあります。また、今回の協議会で実施したアンケート結果とうまく補完をしながら、今後これらの評価を受けて、具体的な改善策について検討・フィードバックをお願いいたします。
	子ども子育て新制度について	平成27年4月のスタートにあたっては、それまでの保育の内容や保育料などで新たな負担が生じないようにするという国からの指導もあり、市としてもその方針で対応されていると理解をしています。現時点で、特に大きな混乱は生じていないというのが市の説明ですが、引き続き我々父母に問題が生じないよう、ご対応をお願いいたします。一方で、なお、子ども子育て会議では、団体推薦に公立保育園の父母代表枠が無くなったことについては遺憾です。市の保育施策は公立保育園を活用した施策が多く、公立保育園の父母への影響も大きいです。また保育園に通う父母は年齢的に子育て負担が大きく仕事と家庭の両立に手一杯で公の場での発言がしにくい中、500世帯程の纏まった意見を反映できる団体として、善処をお願いいたします。